

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

大切な事に気付けた日

白河市立東中学校 3年 吉田 怜華

「消費税が十パーセントに引き上げが決定しました」

今から一年前の出来事です。私の家でも消費税が上がる前から家族間で

「日用品少し多めに買っておかなきゃ」

と母がよく言っていました。

しかし、私は消費税が上がる事がどういう事か、なぜ上がるのか、全く分かりませんでした。

私は母に聞きました。

「消費税が上がるとみんな色々節約しなきゃいけないのに、どうして上げるの」
すると母は笑いながら言いました。

「みんな苦しくなるけど、助かる人もいるんだよ。もちろん怜華もね。」

私はよく分かりませんでした。その日、私はその他に何の税金があるのか調べてみました。住民税や所得税、介護保険税に健康保険税。私の知らない税金の名前がたくさんでした。

「大人になるとこんなに税金を払わなくちゃいけないんだ。本当に必要なのかな」

翌日、母と買い物に行った際、店の前に救急車が止まっていました。

「誰か具合悪くなったのかな」

と母と見ていたら、救急車の運転席から私の叔父が出てきました。私の叔父は消防士で、沢山の人を救って来ました。いつもは私や妹と一緒に楽しく遊んでくれる叔父ですが、仕事の時の叔父は真剣で、とても誇らしかったです。その時母は、

「昨日怜華が言ってたでしょ。どうして税が必要なのかって。今、目の前で具合の悪い人をまあちゃん一生懸命救ってるでしょ。その救急車は、ママ達が払ってる税金で成り立ってるんだよ。ママ達が払ってる税金で困ってる人を救えるの。その他にも、

怜華と圭澄が使ってる教科書とかも含まれるんだけどね。でもね、ママ達が払ってる税金で、まあちゃんが一人の命を救ってくれてるって思うと、すごくうれしい事じゃない」

母はうれしそうに笑って言いました。

目の前で一人の人を一生懸命救っている叔父。それをうれしそうに見ている母に、私はなんだか心が温かくなりました。

父や母が払っている税金で、私達が安心して勉強ができる事。命を救えること。

税について何も分からなかったけれど、税金の大切さに気付かされた一日でした。

私はまだ子供で、税金を支払う義務はありません。でも、大人になったら、きちんと税金を払おうと思いました。

私一人の税金ではどうにもならないけれど、みんなが税金を払う事で、一つの命が助かり、そして、安全に安心して暮らせる日を過ごしていけるから。